

大塚産業マテリアル株式会社



今回、ゼミ活動で滋賀県の中小企業を訪問することになり、いくつかの企業様が候補にあげられた中で、私たちは「不織布」というものに興味を抱き、大塚産業マテリアル様を訪問させていただくことに決めました。そこで、実際に訪問させていただき、「不織布」をはじめとする、同社の魅力について私たちが学んだことを皆さんにお伝えしていきたいと思ひます。

創業300年の伝統ある企業

- 創業は1700年代初頭
 - 蚊帳づくりから地元の葦を使った壁紙づくり、そして不織布加工へと事業展開してきました。
- そもそも不織布とは
 - 織ったり編んだりしていない布状のものです。
- 大塚産業マテリアルの不織布
 - 主に自動車シートの補強布として使用されています。

『大塚産業は社会に奉仕する』

これは私たちの会社の憲法ともいべき社是の最初の言葉です。

18世紀初頭の創業以来、私たちは「会社は社会の公器であり、仕事を通して社会に付加価値を生み出し、社会に貢献する」という価値観のもと商いを続けてまいりました。

18世紀末から19世紀にかけて起こった産業革命は、20世紀に入り今の先進国の産業を飛躍的に発展させ、豊かな生活を我々にもたらしけてくれました。

しかし21世紀に入った今、20世紀には発展をもたらした従来の資本主義が軋みだしています。会社は100%株主のものであるとか、自己資本利益率（ROE）のみを重視するといった20世紀経営等に疑問符がつきだしました。

私たちは今一度原点に戻り、「売り手よし、買い手よし、世間よし」という近江商人の三方よしの精神のもと事業を続けてまいります。

その昔から、この日本にあった商道徳は、今でいうCSR（企業の社会的責任）であり新たな21世紀型の「公益資本主義」ともいべきものでしょう。

真のグローバル企業として多様な価値観を理解し、社会の期待に応え、社会から必要とされる企業であり続けることが、当社の使命であると考えています。

※ホームページより



代表取締役会長
大塚敬一郎さん

会社概要

■住所(本社)	〒526-0021 滋賀県長浜市八幡中山町1番地	■設立年月日	1987年(昭和62年)3月31日 ※4つの会社に分社した年
■企業HP	http://ohtukasangyo.com/material/	■代表者名	代表取締役会長 大塚 敬一郎
■資本金 ■従業員数	資本金：2,000万円 従業員数：124名(2018年4月1日現在)	■業種	製造業(自動車内装部品、ラミネート品、その他)

不織布成形における高い技術力

- ・なんと自動車シートの補強布の国内シェアは**7割**のシェアを誇ります。
- 縫製品から成形品の割合が増え、連続成形機、三次元カッターといった固有の技術、設備で対応しています。
- ・ウォータージェットによる不織布成形を開発しています。
- 水圧による三次元加工技術
- ・様々な裁断技術と設備を有しています。
- NC裁断、プレス裁断、三次元カッター

社内の工夫

- ・改善提案活動を積極的に実施しています。
- 社員一人ひとりによる“生産性の向上”を目指しています。
- ・すべてを機械化することは考えていません。
- 柔らかな繊維製品を扱う以上、頼りになるのは人の手、人の目という意図も込められています。

今後の課題や事業展開

- ・タイやベトナム、中国などに海外進出を行っています。
- ・「経済を読み解くこと」が重要です。
- 自動車産業の今後の在り方にも影響を受けるからです。
- ・「創業以来300年続く会社をつぶしてはいけない」「未来永劫継続する」ことを重視しています。
- 伝統を継承しながらも改革を続けています。
- ・「三方良し」の考え方を大切にしています。
- 利益にならないことは後回しだが、利益だけではなく付加価値を生み出し続け、地元長浜に貢献することを大前提としています。



(取材学生) ※下線は担当学生

<左から2番目>
 経営学部 経営学科 2回生 藤原康平
 <左から3番目>
 経営学部 経営学科 2回生 杉本真理
 <右から3番目>
 経営学部 経営学科 2回生 田中愛希
 <右から2番目>
 経営学部 経営学科 2回生 藤川未夢玲
 <右から1番目>
 経営学部 経営学科 2回生 森岡葵

<取材を終えて>

大塚産業マテリアル様に訪問させていただく前は「不織布」というものの自体、名前も初めて耳にしたのですが、お話を聞いていると、私たちの身近なものとして、マスクやウェットティッシュ、ティーバック、衣類、スリッパ、カバン、紙おむつ、カーペット等、様々なところに用いられていることがわかりました。

大塚産業マテリアル様は利益だけでなく、社員の声が届きやすい工夫を行なったり、地元長浜に還元するなどの近江商人の「三方良し」の考え方も今もなお大切にされています。

私たちは「革新しない会社には未来はない」という言葉が印象に残りました。大塚産業マテリアル様は創業した1700年代から300年たった今でも、伝統を継承しつつ変革を続けられている企業です。

最後になりましたが、とても貴重な体験となりました。ありがとうございました。

(取材日：2018年10月18日)